YAMAHA

取扱説明書

YF-1C Roll Bahn

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、ヤマハヘルメットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の正しい取扱方法について説明してあります。ご使用になる前に本書を必ずよくお読みいただき、安全に快適なバイクライフをお楽しみください。また、本製品独自の機能や取扱方法がありますので、ヘルメットの取扱に慣れた方も必ずお読みください。
読み終わったあとは、必ず保管してください。

この商品は日本国内の規格に適合しています。

本書では正しい取扱に関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠警告	取扱を誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
注意	取扱を誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
要点	正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

⚠警告 ヘルメットの保護能力には限度があります

ヤマハヘルメットは国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。

⚠警告 必ず守っていただきたい注意事項

- **使用前点検を必ず実施してください。**
  シールドや内装、スクリュー等の構成部品が正しく組み付けられていないと、走行中にシールドが外れるなど運転の妨げになり、思わぬ事故につながります。ベンチレーション・内装・シールド等が確実に固定されているか確認してから使用してください。
- 頭のサイズに合ったヘルメットを使用してください。
  大きすぎるヘルメットは、走行中にぐらつくため危険です。また、小さすぎるヘルメットは、頭を締め付けるため痛くなることがあります。
- あごひもは確実に締めてください。
  あごひもを締めないと、走行中にヘルメットがずれたり、万一転倒したときにヘルメットが脱げて、頭が保護されない恐れがあり、重大なけがにつながります。
- あごひもの緩み、シールドやベンチレーションの異音などヘルメットに違和感を感じても、走行中はヘルメットを操作しないでください。
  走行中の操作は運転の妨げとなり、大変危険です。周囲の交通状況を確認し安全な場所に停車してから、ヘルメットを確認してください。
- 走行中の環境変化に注意してください。
  突然の雨や急激な温度変化によってシールドがくもり、視界不良で思わぬ事故につながる恐れがあります。環境変化が予測されるときは、走行前にシールドの開度を調整し、速度を落として走行してください。

⚠警告 必ず守っていただきたい注意事項

- 大きな衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。
  ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けたあとは、外観上損傷がなくてもライナーが変形している場合があります。変形した場合、再度衝撃を受けたときにエネルギーを吸収できず、重大なけがをする恐れがあります。
- 汚れや傷の付いたシールドで走行しないでください。
  視野の妨げとなり、大変危険です。汚れている場合は汚れを除去し、傷が付いている場合は交換してください。
- 改造は絶対にしないでください。
  ヘルメットに穴を空けたり、削ったりすると性能が損なわれ、充分に保護能力が発揮できない恐れがあります。
- ヘルメットを車両のホルダーに付けたまま走行しないでください。
  運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。また、ヘルメットに傷が付く恐れがあります。
- ヘルメットは購入後3年で交換してください。
  正常に使用しても目に見えない部品の劣化が進み、性能は低下していきます。購入後3年を過ぎたヘルメットは、衝撃を受けたときに性能を充分発揮できない恐れがあります。早めの交換をお勧めします。
- ヘルメット及びシールドの清掃は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  熱湯（50℃以上）・塩水・ベンジン・シンナー・ガソリン等を使用すると、ヘルメットやシールドが損傷する恐れがあります。清掃するときは、薄めた中性洗剤を使用し、柔らかい布でふき取ってください。
- ヘルメットに塗料・接着剤・ガソリン等の溶剤を付けないでください。また、直射日光のあたる車内や、暖房機の近くなど高温になる場所に長時間放置しないでください。
  シェルや衝撃吸収ライナーが変形し、衝撃吸収力が著しく低下します。
- ヘルメットを持ち運ぶときは、外装かあごひもを持ってください。
  内装やシールドを持つと、ヘルメットが落下する恐れがあります。

注意 ヘルメットボックスに収納するときの注意

ヘルメットボックスにヘルメットを収納するときは、下に押し付けたり中で回転させたりしないでください。部品が外れる恐れがあります。
※ヘルメットに組み付けてある部品は、規格上（JIS規格／SG規格）転倒等の衝撃を受けたときに容易に外れるように、両面テープ等で固定されています。

⚠警告 シールド取扱の注意事項

- トンネル及び夜間走行の注意
  スモーク・オレンジ・ミラー加工等を施したシールドでトンネルや夜間を走行するときは、シールドを上げるか標準のシールドに交換してください。視認力の低下を招き、思わぬ事故につながります。

注意 シールド取扱の注意事項

- 乾いた布でふかないでください。
  シールドの汚れを取るときは、水で軽く洗い、柔らかい布でふき取って自然乾燥させてください。強くこすると傷が付く恐れがあります。
- 薄めた中性洗剤以外は使用しないでください。
  汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使って洗い流してください。酸性・アルカリ性系の洗剤及び有機溶剤※1等は絶対に使用しないでください。シールドの割れ、蒸着メッキ膜のはく離の原因となります。
  ※1：ガソリン・シンナー・ブレーキオイル・市販の撥水剤・くもり止め・ブレーキ等のクリーナー

要点 つや消し塗装の汚れ取り方法

薄めた中性洗剤を使用して、洗い流してください。

SGマークはSafety Goods（安全な製品）の略号で、製品安全協会が定めたものです。構造・材質・使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について安全性品質に関する認定基準を定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。

国は消費生活用製品のうち、構造・材質・使用状況から見て、一般消費者の生命又は身体に対して、特に危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品を「特定製品」として指定しております。「特定製品」の製造を行う事業者は国に届け出を行うとともに、国の定める技術水準に適応しているかどうかチェックします。合格した製品には「PSC」マーク（Product Safety＝製品安全の略号を）表示し、「PSC」マークの表示がされていない「特定製品」の販売を禁じる事としています。

乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に充分な保護性能を発揮しない恐れがありますので十分ご注意ください。

製品安全協会/日本安全帽工業会

SGマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり製品安全協会の定める認定基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途（レース・サーカス等）に用いている際の負傷や、認定基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

製品の欠陥による事故がおきた場合は

1. 製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ（財）製品安全協会 消費生活用製品PLセンターへ連絡してください。TEL（03）-5808-3303
2. 「事故発生届」又は「賠償措置実地請求書」を提出してください。（原則として事故発生より60日以内）
3. 事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4. 以上の調査結果を検討して、賠償するかどうか決定します。

SGマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012　東京都台東区竜泉2-20-2　ミサワホームズ三ノ輪 2階
（財）製品安全協会　消費生活用製品PLセンター　TEL（03)-5808-3303

■ あごひもの締め方

⚠警告

あごひもは確実に締めてください。締められていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがをする恐れがあります。

①かぶる前に2つのDリングの位置が正しいか確認します。
②ヘルメットをかぶり、Dリングにあごひもを通します。

③あごひもを折り返し、2つのDリングの間に通します。

④あごひもを引っ張り、緩まないように締め付けます。

⑤あごひも先端のボタンとDリング側のボタンをとめます。

要点

- あごとあごひものすき間は、指が1～2本入る程度が適当です。
- あごひもの取り外しは、組み付けと逆の手順で行ないます。

⚠警告

- 走行前にあごひもを引っ張り、確実に固定されているか確認してください。固定されていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがをする恐れがあります。
- 走行中にあごひもの脱着や調整をしないでください。運転の妨げになり、重大な事故につながります。

■ ブレスガードの取外方法

ブレスガードをつまんで引き抜きます。

■ ブレスガードの組付方法

ブレスガードの中心とアンダーエアインテークの中心を合わせ、縁ゴムとあごパッドのすき間にインサート部を差し込みます。

■ インナーパッドの取外方法

①ライナーとインナーパッドの間に手を入れて、縁ゴムとライナーのすき間からインナーパッドの縁材を抜き取ります。

②インナーパッドの頭頂部をライナーのベルクロテープからはがし、あごひもから抜き取るようにしてインナーパッドを取り外します。

要点

インナーパッドを洗濯する場合は、薄めた中性洗剤で押し洗いし、陰干しをします。

■ インナーパッドの組付方法

①インナーパッドの前後を確認します。
②あごひもをインナーパッド左右のあごひも穴に通し、ヘルメット内部に仮置きします。

③インナーパッド窓部の縁材を縁ゴムとライナーのすき間に、コーナー部から順に差し込みます。

④ネック部の縁材突起部を縁ゴムの継ぎ目と合わせ、縁材を縁ゴムとライナーのすき間に差し込みます。

⑤インナーパッド頭頂部をライナーのベルクロテープに固定します。

⑥あごひも穴周辺のたるみを奥へ押し込み、耳のスペースを確保します。また、インナーパッドにたるみがある場合は、ライナーに沿わせて調整します。

■ サイドカバーの取外方法

①シールドを全開にします。

②サイドカバー下部にプラスチック製のボールペンを5cm程差し込み、サイドカバーをゆっくり持ち上げます。

③サイドカバーが「カチッ」と音がして浮き上がったら、イラストの矢印方向へ回転させ、取り外します。

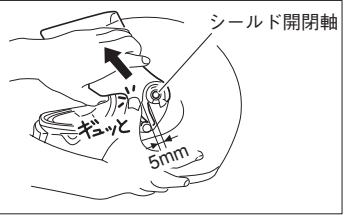
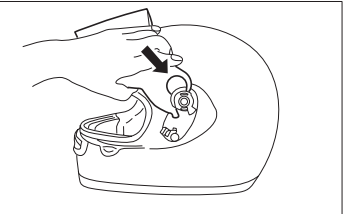
■ サイドカバーの組付方法

①シールドを全開にします。

②サイドカバー上側フックをヘルメット本体ベースの溝に合わせます。

③上側フックが外れないようにフックの中心を指で押さえ、サイドカバー下部を1cm程持ち上げながら、イラストの矢印方向へ「パチン」と音がするまで回転させます。

④サイドカバーにガタつきや浮きがないか確認します。

■ シールドの取外方法

①シールドを全開にします。

②サイドカバーを取り外します。
（「**サイドカバーの取外方法**」参照）

③シールド開閉軸の斜め下部を強めに押しながら、シールドをイラストの矢印方向へ引き抜きます。

■ シールドの組付方法

①シールドをヘルメット本体ベースの斜め上からイラストの矢印方向へ、「パチン」と音がするまで差し込みます。

②シールドを閉じて、確実に組み付けられているか確認します。

③サイドカバーを組み付けます。

発売元 **株式会社ワイズギア**

〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103
[商品のお問い合わせ窓口] TEL 0570-050814（ゴーワイズ）
月曜～金曜（弊社所定の休日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:30
◎一般の固定電話の場合、全国一律市内電話料でご利用いただけます。
◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

輸入元 ヤマハ発動機株式会社 部品事業部
静岡県袋井市久能3001-8

製造元 HONGJIN (BEIJING) SPORTS GOODS CO., LTD.
95, SHALING-SECTION, SHUNPING-ROAD, YANGZHEN, SHUNYI, BEIJING, P. R. CHINA

2010年 6月 現在